

山 弓 連

平成20年
11月発行

第22回 山日・YBS杯弓道選手権大会

主催 山梨日日新聞社・山梨放送
主管 山梨県弓道連盟

平成20年11月23日 日曜日 午前9時
小瀬武道館弓道場

参加選手(申し込み)

女子の部 36名 男子の部 70名
称号受有者の部 27名 合計 133名
大会役員・競技役員 27名
競技開始AM 9:30 競技終了PM14:15

【大会成績】

()内は決勝競射数

△女子の部(予選通過者8名)

- 1位(4) 澤村弓子(三段 身延支部) ○○○○
2位(3) 小俣雅子(二段) 富士吉田支部 ○○○×
3位(2) 坂牧梨沙(四段) 笛吹支部 ○○×

△男子の部(予選通過者37名)

- 1位(5) 岩崎 博(三段) 大月支部 ○○○○○
2位(5) 桑原 良(四段) 富士吉田支部 ○○○○×
3位(4) 茂木洋輔(三段) 韮崎支部 ○○○×
4位(同中者4名遠近)
 雨宮敬典(二段) 甲府支部 ○○×
5位(同中者4名遠近)
 藤原直之(四段) 笛吹支部 ○○×

△称号受有者の部(予選通過者15名)

- 1位(4) 小俣太一(錬士五段) 大月支部 ○○○○
2位(4) 古屋 浩元(錬士六段) 南アルプス支 ○○○×
3位(同中者2名遠近)
白須吉人(錬士五段) 富士吉田支部 ○○×

第23回県下女子弓道大会

平成20年10月5日 小瀬武道館弓道場

薄曇の過しやすい陽気の下、開会式の後、標部長の矢渡し、続いて華やかな和服での五人持ちの射礼が行われました。高校生にとってはこのような演武を観る

のは初めてで興味深いものだったようです。その後142名の参加者にて競技は行われました。成績結果は以下のとおりです。

高校の部

団体 (各自8射団体計24射)

優勝 桂高校A 13中(佐戸小百合、中野莉生、山口美保)

2位 巨摩高校A 12中(野田真奈美、秋山史帆、望月菜央) 3位 甲陵高校B 11中(浅川優紀、葛城 結、神宮寺梓)

個人 1位 安藤優里(富士北陵) 7中 2位 浅川優紀(甲陵) 7中 3位 中野莉生(桂) 6中

一般の部(各自8射)

個人 1位 星 歩(南ア) 7中 2位 澤村弓子(身延) 6中

3位 大野陽子(甲府) 5中 *同中は競射による
(女子部 小岱良子)

笛吹市石和町清流杯争奪弓道大会の報告

11月2日(日)9時から、笛吹市石和町清流館弓道場において「第15回石和町清流杯争奪弓道大会」が開催されました。(遠的は14回目)

すばらしい秋晴れに恵まれ、町内のお手伝いも含めて、約100名の参加者がありました。

今年も賞品が石和町名産の「柿」で、昼食時の「トン汁」も参加者の皆様から好評でした。

結果は以下の通り

<近的の部>

団体優勝:南アルプス1チーム 長沢和久・中込康之・中込実(19中)

準優勝:石和1チーム 坂牧雅夫・坂牧梨沙・藤原直之(12中)

3位:勝沼2チーム 高埜よしみ・志村明美・坂崎満子(12中)

個人優勝:中込実(南アルプス市)(7中)

準優勝:坂牧雅夫(石和町)(6中) 競射による

3位:近藤賢一(市川三郷町)

4位:中込康之(南アルプス市)

5位:山下弘行(山梨市)

<遠的の部>

個人優勝:中込康之(南アルプス市) 55点

準優勝:渡辺幸太(富士吉田市)

3位:中込 実(南アルプス市)

4位:羽田穂高(富士吉田市)

5位:坂牧梨沙(石和町)

(報告 石和町 古屋二三男)

南巨摩郡選手権弓道交流大会

平成20年11月16日(日) 南部町富沢町弓道場において郡下の弓友が集まり第29回目の郡選手権大会を実施した、時々小雨降る中、三人の団体戦と個人戦が行われ成績は以上の通りであります。

成績 団体の部 男子 優勝 南部B 36射15中 準優勝 増穂C 36射14中
第3位 身延A 36射12中
女子優勝 身延A 24射11中 準優勝 身延B 24射6中 第3位 増穂A 24射5中
個人の部 男子 優勝 佐野辰巳 12射11中 準優勝 井上貴雄 12射9中 第3位 小澤重平 12射7中
個人の部 女子 優勝 澤村弓子 12射10中 準優勝 梶本かね子 12射4中 第3位 伊藤恵子 12射3中

(南部弓道部長 佐野辰巳)

第55回勝沼ぶどう祭り県下弓道大会

平成20年10月12日

優勝 坂牧雅夫 7中 準優勝 荒井紀彦 6中
3位 市川明 6中 4位 大崎千恵 6中 5位 山本満 5中 (以下省略)

第55回記念賞 梶原久美子

(報告 勝沼町 上野捷利)

《第63回国民体育大会 チャレンジ!》

おおいの国体少年女子報告

8月に本県で行われた関東ブロック予選を突破し、10月4日から大分県佐伯市で行われた第63回国民体育大会に選手: 相原芙由美(巨摩)、山本胡幸(韮崎)、大木春奈(巨摩)、補欠: 渡部結衣(富士北稜)、監督: 中沢友二、コーチ: 小林弘子、少年総監督: 風間久幸の計7名で参加をしてきました。

ブロック予選終了後も週1回の練習を重ね、万全とまではいきませんでした。関東の代表として堂々と戦える状態で大分入りすることができました。

開始式直後に近代的競技が開始され、控えに入り、整然とする環境から選手達の緊張が伝わってきました。全国、関東大会と出場経験豊富な選手でも、国体一立目のプレッシャーが重くのしかかり、7中と明らかに遅れた結果。2立目はいつもの生き生きと弓を引く姿があり、2立目は9中、計24射16中でした。予選通過が17中で

あったことから、改めて1本の重みを感じました。

近代的予選敗退の結果に終わりましたが、2立目の良いイメージを保ったまま、遠的に挑むことができました。翌日の試合に向けて、仮設での練習を行いました。70点前後の得点を連続して出す好調な状態であったため、早めに切り上げることにしました。遠的当日は生憎の雨の中、1回目を迎えました。遠的は近的の時のような硬さは全くなく、1立目は60点、2立目は42点、計102点。昨年の子選通過が110点であったので、通過は厳しいと感じながら、結果はギリギリの8位で予選通過。

トーナメント1回戦は大阪府と対戦し、37対35で辛くも勝利し、準決勝では長崎県と対戦し、最後まで分からない接戦でしたが48対50で敗退しました。退場後、選手に負けて悔しいという表情は無く、充実感に満ちた笑顔が見えました。一手勝負の3位決定戦入場時、相原が「この2本が私達の高校弓道最後の2本になる。結果にとらわれず、思い切り引こう!」と言い、山本、大木もそれに応えて入場しました。結果、和歌山県に対し、32対17で勝利し、第3位の成績を納めることができました。

月に1度の強化練習を重ね、相原、山本、大木、渡部のメンバーが結成して約3ヶ月。夏の暑い中、日々の練習を怠ることなく積み重ねた結果がこのような快挙に結びついたのだと思います。練習を重ねる毎に選手達の深まっていくチームワーク、体調がおもわしくない状態でありながらも、練習に足を運んでいただいた小林コーチに支えられながら監督を務めることができました。また、天野会長はじめ、応援いただきました山弓連の方々の協力なしではこの結果を得ることはできなかったと思います。最後に4名の選手は山梨県の弓道界にとって大きな財産であります。進路の関係で弓を続けられるか微妙な状況にありますが、また戻ってきてくれることを信じ、今後も選手の育成に力を入れていきたいと思っています。

報告 少年女子監督 中沢友二

遠的決勝トーナメント

1回戦 (四矢)		2回戦 (四矢)				3位決定戦 (一手)		
山梨	37	勝	山梨	48	負	山梨	32	勝
相原	22		相原	21		相原	16	
山本	3		山本	15		山本	10	
大木	12		大木	12		大木	6	
大阪	35	負	長崎	50	勝	和歌山	17	負

(紙面の都合上、おおいの国体少年女子報告の文章の一部を割愛させていただきます、ご了承下さい、新藤)